

平成21年度

新時代に対応した 消防団運営

充実強化方策と
消防団活動事例



は し が き

全国の消防団員の皆様が、それぞれの職業に従事されながら、国民の生命、身体、財産を保護するため、日夜献身的なご努力を続けておられることに対し、心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、我が国の消防は、先人のご努力の積み重ねにより着実な発展を遂げ、今や地域住民に最も身近な防災機関として、国民から多大の信頼と期待を寄せられております。

しかしながら、住宅火災による焼死者が5年連続して1,000名を超えるほか、日本各地で甚大な被害をもたらした集中豪雨や、チリ中部沖で発生したマグニチュード8.6の地震の影響による大津波警報で、多くの住民が避難したことも記憶に新しく、災害の態様は複雑多様化、大規模化の様相を一層強めております。

このような状況において、地域に根ざした消防団の活動はますます重要度を増し、身近な存在である消防団の頼もしい姿は、国民からの大きな称望と期待を集めており、消防団関係者は改めてその責務を重くかみしめ、職務に邁進しなければなりません。

このような中、日本消防協会は、新時代に対応した消防団の充実発展を図るため、これまであらゆる努力を傾けて参りました。

このテキストには、多様な、しかも変化する環境下にある消防団の円滑な運営のため、参考になると思われる国等の動向や、全国各地で活躍される消防団の活動事例を掲載しました。消防団の活性化が求められるなか、それぞれの消防団が地域特性を活かした活動を一層充実させ、ますますの発展を遂げるうえでこれが活用されれば幸いです。

終わりに、本テキストの作成にあたり、貴重なご意見をいただきました総務省消防庁国民保護・防災部防災課をはじめ、活動事例収集にご協力いただきました各都道府県消防協会、各消防団及び消防団事務担当者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成22年3月31日

財団法人 日本消防協会

平成21年度 新時代に対応した消防団運営

～充実強化方策と消防団活動事例～

目次

はしがき	1
目次	2
巻頭写真	
最近の消防団の活動	5

第Ⅰ章【消防団の現状と充実強化方策】

I 消防団の現状	
1 消防団の活動状況	12
2 消防団の抱える課題	12
II 消防団の機能と役割	
1 多様な環境下にある消防団の機能と役割	15
2 「消防力の整備指針」における消防団の業務及び人員の総数	16
III 消防団の活性化対策	
1 消防団組織・制度の多様化方策	18
2 消防団と事業所との連携体制の強化	20
3 消防団への参加促進・活性化対策	23
4 消防団関係の助成事業	24
資料1 消防団と事業所の協力体制の推進について	25
資料2 ふるさと消防団活性化助成事業について	28
資料3 消防団員確保等に関する最近の通知	30

第Ⅱ章【消防団活動事例】

都道府県の取り組み 編	42
■ 岡山県 《「おかやまの消防団」いきいき出前講座を実施》	
■ 岩手県 《消防団員確保キャラバン事業》	

■ 東京都 《地域の特性を活かした様々な消防団員募集活動》

訓練・災害対応 編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

- 雨竜消防団 ～不時火災演習（非常招集訓練）を実施～
- 熊谷市消防団 ～多機能型車両を使用した訓練を実施～
- 佐野市消防団 ～利根川水系連合水防演習に参加～
- 牛込消防団 ～可搬ポンプ積載車操縦訓練を実施～
- 諸塚村消防団 ～管内に常備消防のない消防団～

組織再編・機能別分団（団員） 編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56

- 湯河原町消防団 ～OB団員を本部員として採用～
- 中津川市消防団 ～「機能別消防団員：中津川市消防サポート隊」
が発足～
- 君津市消防団 ～機能別消防団員による「市役所分団」の発足
- 北九州市戸畑消防団 ～レスキューロボット操縦士～
- 三鷹市消防団 ～消防団災害時重機隊の配置～
- 柏市消防団 ～救命サポーター隊の発足～
- 奈良市消防団 ～女性消防団員で構成する広報指導分団を発足～

地域へのPR活動 編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66

- 中間市消防団 ～市の広報誌で消防団をPR～
- 安芸市消防団 ～出初式で消防団をPR～
- 相模原市相模原消防団 ～市民祭りで消防団をPR～
- 日本堤消防団 ～消防特別警戒で入団促進をPR～
- 福岡市西消防団 ～消防ふれあい広場を開催～
- 相生市消防団 ～「消防フェスタ」を開催～
- 幸田町消防団 ～「防火パレード」を実施～
- 瀬戸市消防団 ～消防団イメージアップ活動～
- 金沢市消防団連合会 ～「加賀鳶梯子登り」
石川県無形民俗文化財に指定～
- 鵜川消防団 ～纏振り保存会～

地域住民への防火指導・予防広報 編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79

- 取手市消防団 ～高齢者宅防火訪問・小学生に救命講習会を実施～
- 横浜市港北消防団 ～中学生を対象にした救急講習を実施～
- 川崎市中原消防団 ～中学生を対象としたDIGを実施～
- 赤平市消防団 ～女性消防団員による高齢者世帯防火査察～
- 高知市消防団 ～分団の枠を超え予防啓発活動を実施～

■ 名張市消防団	～「119 団 アンシンダーL」による火災予防啓発～	
■ 岡山市消防団	～救急講習での体験を寸劇にして発表～	
女性消防団員の活動	編	90
■ 佐世保市消防団	～女性消防団員による救急講習～	
■ 三郷市消防団	～女性消防隊（愛称 アザレア）が 保育所を防火訪問～	
■ 珠洲市消防団	～女性消防団員による火災予防指導～	
その他事例		93
■ その他の活動事例		

第Ⅲ章【新時代に対応した消防団運営方策の普及に係る講座】

平成21年度実施状況（各講座詳細）	98
-------------------	----

日本消防協会からのお知らせ

女性消防団員広報用ポスター等	110
----------------	-----

女性消防団員による救急講習

消防団概要

- ①都道府県名 長崎県
- ②消防団名 佐世保市消防団
- ③実員数 1,512名 [うち女性団員28名]
- ④消防団事務局 佐世保市消防局総務課消防団係
Tel 0956-23-9253
- ⑤HPアドレス なし



活動内容

現在、佐世保市消防団では、団本部の女性消防団員26名中24名が応急手当指導員及び応急手当普及員として救急講習等を実施しており、年々増加する救急講習等に対応するために、1名でも多くの資格者を養成し、効率よい業務推進を図りたいと考えている。

今後も女性消防団員として、救急講習等を通して地域に役立つ活動をしていきたい。(28名中2名は、分団員のため除く)

平成22年1月27日現在(資格者24名)

- ・応急手当普及員～9名(24時間の講習・実技)
- ・応急手当指導員～15名

(応急手当普及員の資格者+16時間の講習実技)



市民に指導する女性消防団員



写真提供：佐世保市消防局

特記事項

最初の頃の救急講習では、救急隊員の補助的な役割でしたが、今ではグループ分けした班を任せてもらえるようになり、やりがいを感じている。

また、救急講習後に受講生の方達に感謝されたり、別の日にスーパーなどで受講生の方に声をかけられたり、感謝されることが多々あり、今後の励みになっている。